

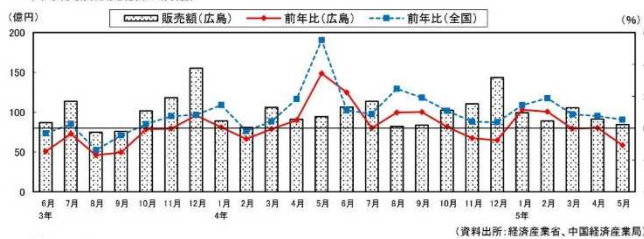
穴吹不動産流通株式会社 広島店 市況レポート (7月)

広島県の経済情勢について(中国財務局 令和5年7月26日公表)

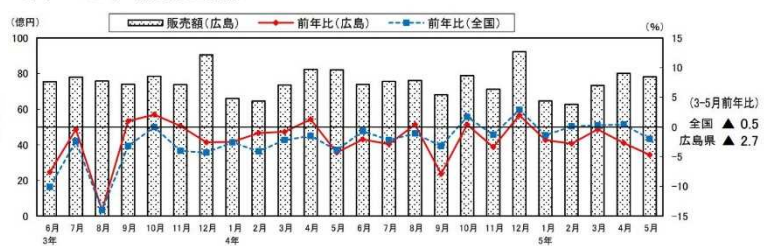
「令和5年7月までの個人消費について」

- (1) 百貨店販売は、ラグジュアリーは引き続き好調。外出して人と対面する機会が増えたため、化粧品やビジネススーツなどが好調となっているほか、インバウンドも売上に寄与している。ただし、G7 広島サミット中は交通規制等により売上が減少した。
- (2) スーパー販売は、外出が増え、キャリーケースやスニーカーなどの外出関連用品の需要が好調なうえ、物価の上昇もあり客単価が上がっているため、売上が好調となっている。
- (3) コンビニエンスストア販売は、外出時に簡単に食べられる、おにぎりやドリンクなどが好調となっている。観光地を中心にインバウンド客が増加傾向となっている。
- (4) 家電大型専門店販売は、気温が例年より低めに推移したため、エアコンが低調となっている。また、消費が行楽等の外側に向いているため、客数が減少していることや、物価高の影響で購入について慎重になる傾向が見られており、販売台数が下向きとなっている。
- (5) ホームセンター販売は、コロナ禍で耐久消費財の買い替え需要が概ね一巡したことや、値上げの影響による、まとめ買いの減少などから、売上高は前年割れとなっている。
- (6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)は、半導体不足の緩和により完成車メーカーからの供給が増えたことから、納車待ちの状況が解消されつつあり、登録台数が前年を上回っている。

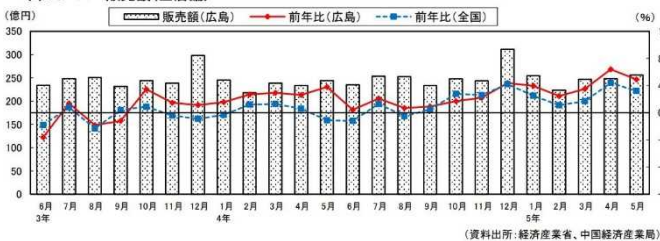
(1) 百貨店販売額(全店舗)



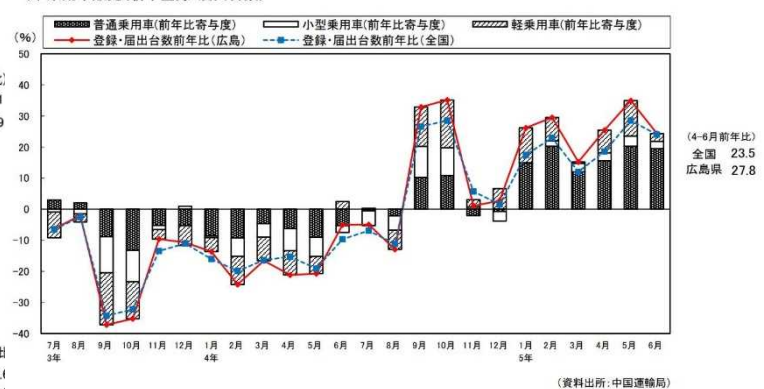
(5) ホームセンター販売額(全店舗)



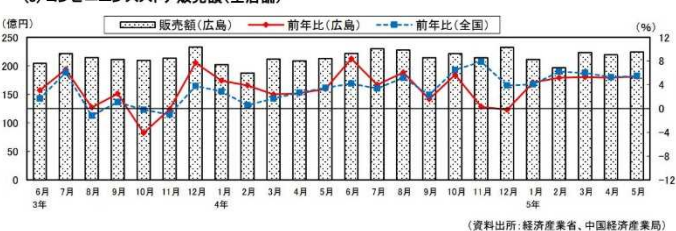
(2) スーパー販売額(全店舗)



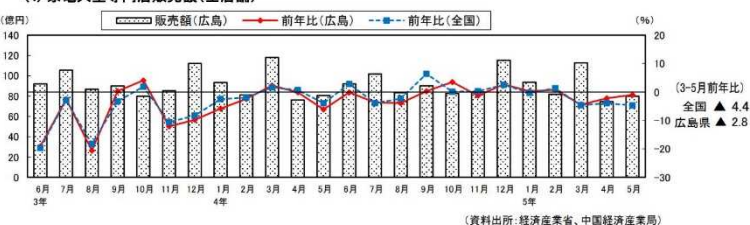
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)

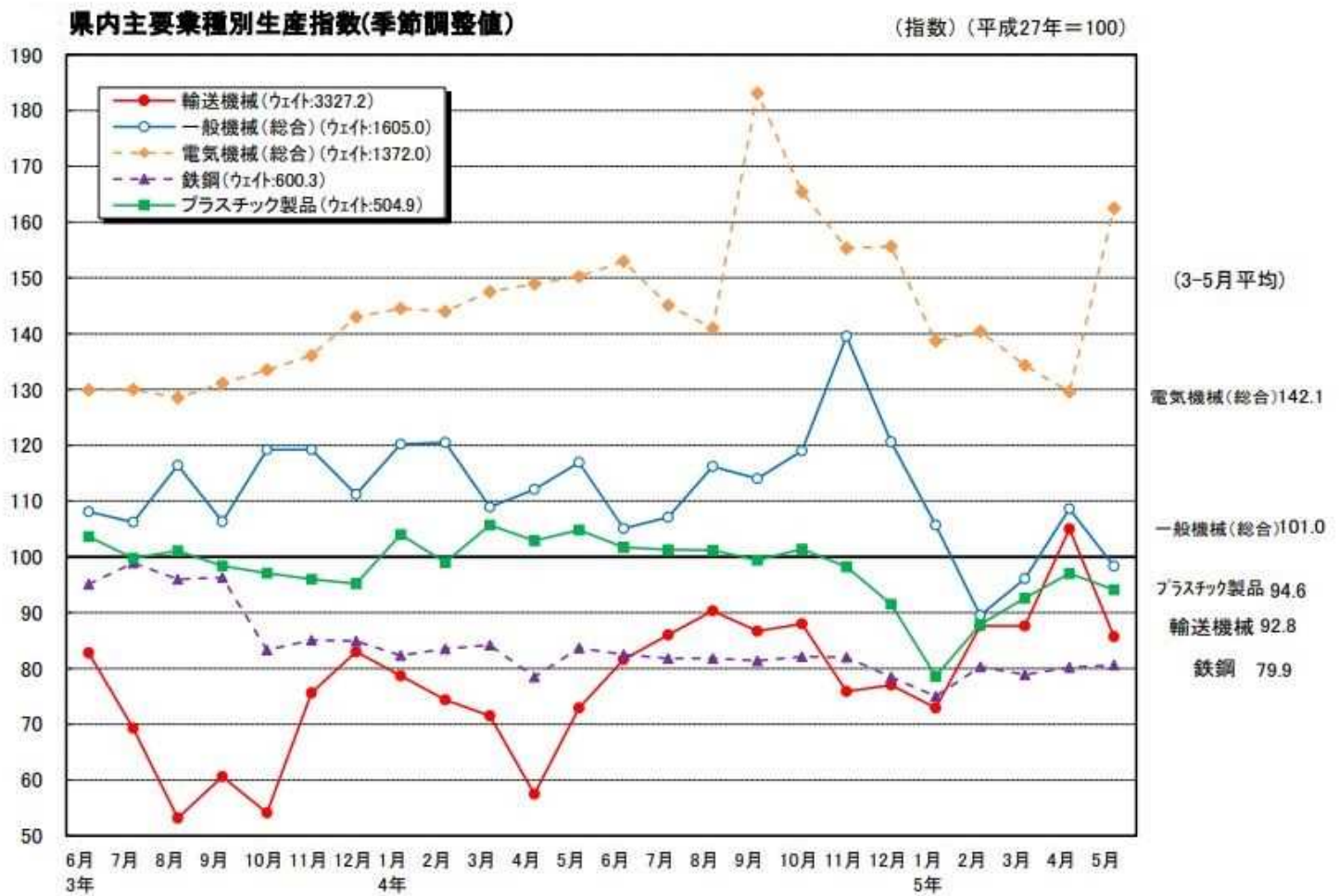


(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)



「令和5年7月までの生産活動について」

- ・一般機械は、コロナ特需で需要のあった医療関係向けなどからの受注が低下しているほか、EVを除く中国向けの需要が回復しておらず、生産が減少している。
- ・電気機械は、中国の不動産市況の回復に遅れがみられることなどから、建設向けの需要が減少している。
- ・輸入機械は、G7 広島サミット中は操業を停止したものの、半導体不足の影響が緩和されつつあることから、生産が増加している。
- ・鉄鋼とプラスチック製品は、半導体不足の影響が緩和されてきたことにより、自動車メーカーの生産が回復していることから、自動車向けの受注が回復している。

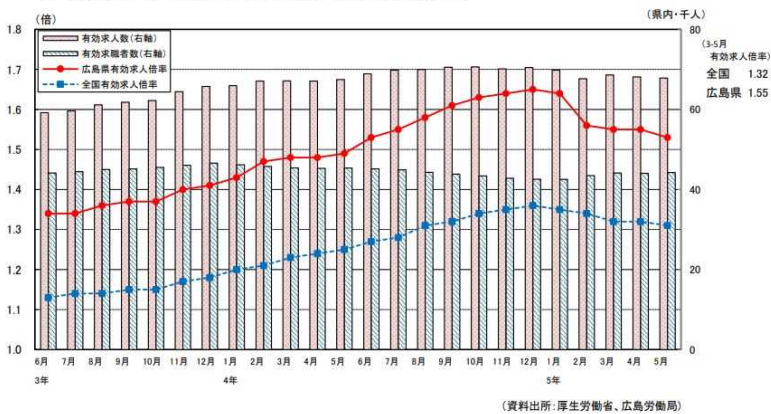


(資料出所: 広島県)

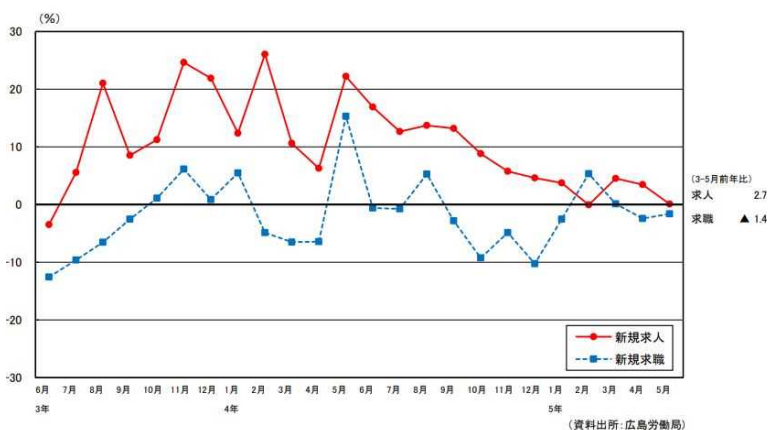
「令和5年7月までの雇用情勢について」

- ・その他の輸送用機械は、慢性的な人手不足のため、ベアなどによる賃上げをしているものの、同業他社より給与水準が低めであるためか、人が集まらない。
- ・小売は、主に新規出店の影響で、特に正社員が不足している。パート・アルバイトは慢性的に不足。
- ・公的機関は、資源価格の高止まりによるコスト増加から、製造業では求人を控える動きが見られている。

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



「まとめ」

個人消費は、緩やかに回復しつつある。
 生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。
 雇用情勢は、持ち直している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

今後の先行きはまだまだ不透明です。ご自身の資産を守るために、現状の資産価値を把握しておくことは大切な行為です。不動産に関するご質問等がございましたら、是非あなぶき不動産流通にご相談下さい。大切なご所有不動産の有効利用をご提案させていただきます。